

達人の神ワザ その2 : 次善策として接合部Ⅱ補強!

どうしても接合部金物が大きくなる

耐力壁の位置もずらせない

接合部金物の足し合わせもできない



“へ”の金物で接合部Ⅱとして補強!

<効果>

- 接合部低減はかかっても、ⅢⅣからⅡへの低減係数の増加は大きい
→ 評点UP
- その場合、施工できる耐力の高い“へ”の金物を取り付ける
→ “へ”金物の最大耐力までの余裕は大きい

<注意>

- 接合部の足し合わせの可否は、減災協の“手引き”5.2章で確認してください。

耐力低減係数 k_j

2階建ての1階

壁基準耐力	3.0			5.0		
	基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	基礎Ⅲ	基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	基礎Ⅲ
仕様						
接合部Ⅰ	1.0	0.9	0.8	1.0	0.85	0.7
接合部Ⅱ	1.0	0.9 ↑	0.8	0.9	0.8 ↑	0.7
接合部Ⅲ	0.8	0.8 ↑	0.8	0.7	0.7 ↑	0.7
接合部Ⅳ	0.8	0.8 ●	0.8	0.7	0.7 ●	0.7

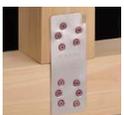
平屋建て

壁基準耐力	3.0			5.0		
	基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	基礎Ⅲ	基礎Ⅰ	基礎Ⅱ	基礎Ⅲ
仕様						
接合部Ⅰ	1.0	0.85	0.7	1.0	0.8	0.7
接合部Ⅱ	0.9	0.75 ↑	0.7 ↑	0.85	0.7 ↑	0.65 ↑
接合部Ⅳ	0.6	0.6 ●	0.6 ●	0.5	0.5 ●	0.5 ●

接合部Ⅰと接合部Ⅱは大差ない!

添付：参考金物リスト 2022

平成12年建設省告示第1460号第2号：柱接合部金物

ほ N ≤ 1.60 8.1kN 短冊金物	柱交換用パイプ コーナー 株式会社タナカ 9.3kN / -		N-1.6 短ざく金物 300 株式会社カナイ 9.4kN / 1.70 以下	タイシンコーナー 株式会社カナイ 8.5kN / 1.6 以下		J-003 接合補強システム コボット 株式会社国元商会 10.6kN / 2.01 以下*	
へ N ≤ 1.80 10.0kN HD-B10	オメガプレート SD 10kN 株式会社タナカ 10.8kN / 2.00 以下		スリムヘビー10* BX カネシン株式会社 10.7kN / 2.00 以下*	シナーコーナー* 株式会社タナカ 11.6kN / 2.10 以下*		レンコン金物羽子板セット・Ⅱ 株式会社 12.1kN / 2.20 以下	

柱接合部仕様を「接合部II」で補強する方法

操作の流れ

- I. (必要金物を表示していない場合) 表示メニューのN値による必要金物を表示にチェックを入れ、仕様を「接合部I」にするために必要な金物の記号を表示させる
- II. 補強用面材の入力後、選択ツールをクリックして当該面材の端部の柱を選択
- III. 操作方法・オプションの「接合部」で、柱頭と柱脚ともにドロップダウンリストから(へ)10kN引き寄せ金物を選択する
- IV. 柱の接合部仕様が「接合部II」となり、色は紫色となる※
 ※ T.S.の場合、必要金物が「へ」以下のときは「接合部I」となり、色は青色となる

